

いじめといじりの違い

□ AERA.dot より一部抜粋(2017/06/14 11:30) カンニング竹山さん

(中略)「いじる」って実は難しくて、いじる方といじられる方の両方に技術がいるんですよ。お笑いライブで頑張っている若手の子たちでも、根本がわかってなくて散々なことになっているときがあるんですよ。言っぱなしとか、フリっぱなしとか。ただ人を攻撃すればいいんだらうって始めちゃうと、どちらも痛い目にあう。特に、いじる方に愛がないと。滑ったときはこうフォローをしよう、それでも滑ったらこのフォローをしよう、最終的に番組を一つに作り上げようっていうことまでみんな考えます。自分がいじられたら、それはそれでめっちゃ美味しいけど、いじる人間は今はこの手柄のためにやってあげないって考えている。サッカーでいうところのボランチっていうのかな。いいパスを渡して、最後いいシュートを打たせる。テレビでタレントとかお笑い芸人とかがそういうことをやっているから、子どもが学校で真似するって言われているけど、「いじり」と「いじめ」は根本的に違う。

「いじり」っていうのは両方が仕事で、いじられている方も利益があるんですよ。いじる方はそれをわかってて、この人はこれをやると美味しくなるし、ウィンウィン。番組が面白くなって、みんなハッピーになるっていう構図のもとやっている。目的意識はみんな同じなんです。(中略) 学校の場合はそうじゃないでしょ。そいつを吊上げてクラス中が笑ったなら、吊るし上げられたやつが本当に気持ち良いと思っているかってことをちゃんと考えなさいよってこと。相手がそう思ってなかったら、やっちゃダメなんですよ。自分がされて嫌なことはや

っちゃいけない。(以下略)

